家庭科の授業プラン（50分授業）

科目 : 家庭基礎　　　　単元 : 消費生活（経済生活とライフプラン）

授業展開例　《50分》

目標

・人生すごろくを通じ、人生には様々なリスクがあることを知る。

・貯蓄や社会保険だけでは対応できないリスクに備え、民間保険があることを知る。

・リスクには民間保険を利用した備えが必要であることを知る。

* 前提として、家計の管理（給与明細含む）、社会保険に関する説明が終わっていることとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 活動内容 | 留意点 | 使用教材 |
| 導入８分 | ●先に学んだ家計の管理、社会保険について復習　　　　【４分】具体例：健康保険とは？発問：「病気で受診したとき、医療費を何割負担する？」・自己負担が少なくてすむことを確認 ・人生のライフプランにおけるリスクとは、経済的な損失を被ることだと説明・貯蓄の重要性を確認し、同時に貯蓄だけで足りるか問いかける●パワーポイントの図「貯金は三角、保険は四角」を説明【４分】・保険の意味を確認 | ・社会保険は原則強制加入、保険料だけでなく税金も投入されていることを確認させる・貯蓄だけでは不十分だと気づかせる・貯蓄と保険の違いを理解させる | パワーポイント「貯金は三角、保険は四角」＊ または、動画「保険の役割」を視聴（4：39まで） |
| 展開❶５分❷６分❸６分❹16分❺ 5分 | ❶「自分のライフプランを『人生すごろく』にしてみましょう」と提案（個人ワーク）　　　・何をしたいかフローチャート状に描かせ、その中に、起こりうるリスクを３つ入れるよう指示❷班に分かれて、どのようなリスクがあるかあげていくよう指示（グループワーク）❸テキスト「明るい未来へTRY」を配布・どのようなリスクが保険で保障（補償）されるか、自分たちのあげたリスクはどうか、冊子の資料編で確認し理解を深める❹「友だちと海外旅行に行きたい！」（ケーススタディ）　※テーマはあくまで例・どのようなリスクがあるかあげさせる・「みんなが考えたリスクと『見逃せないリスク』を比べてみましょう。」・「Workをやって、保険がどのようなものか確認してみましょう」と声がけをする　・テキストのWorkと答え合わせ❺社会保険と民間保険の違いを再確認・貯蓄と社会保険だけで対応できないリスクに、民間保険で備えることもできると説明　 | ・どのようなリスクがあるか考えさせる・スタートは「高校卒業」とし、このような感じで描くという見本を示すと取り掛かりやすい・グループで情報を共有・教師がテーマごとに板書・資料編の内容の探し方をアドバイスする・予想していなかったリスクに気づかせる・保険に入っていると助けられる場合があることに気づかせる・民間保険の必要性に気づかせる・気候災害の増加をヒントにあげてもよい | ＊各自コンピュータやタブレット端末のアプリを使用させる＊用紙を配布し、ライフイベントやリスクを○で囲み矢印でつないでもよい冊子「明るい未来へTRY」p 30〜資料編「保険金が支払われるケースと支払われないケース」・パワーポイント「友だちと海外旅行に行きたい！」・冊子p25「見逃せないリスクとは？」・Work・テキストp16・動画「社会保険と民間保険編」（3：44〜）・Work p17 |
| まとめ４分 | ・損害保険で備えることは、万が一の時の助けになることを確認・自分に必要な保険は何か、よく考えることが必要だと理解させる・ワークシートなどに、本時で感じたことを記入し提出 | ・ワークシートなど（人生すごろくの余白に書かせてもよい） |  |